

2015年3月期第2四半期 決算説明会

The logo for CASIO, featuring the word "CASIO" in a bold, blue, sans-serif font with a registered trademark symbol (®) to the right.

カシオ計算機株式会社

2014年10月30日

本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。
従って、実際の業績は、様々な要因により、これらの業績とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

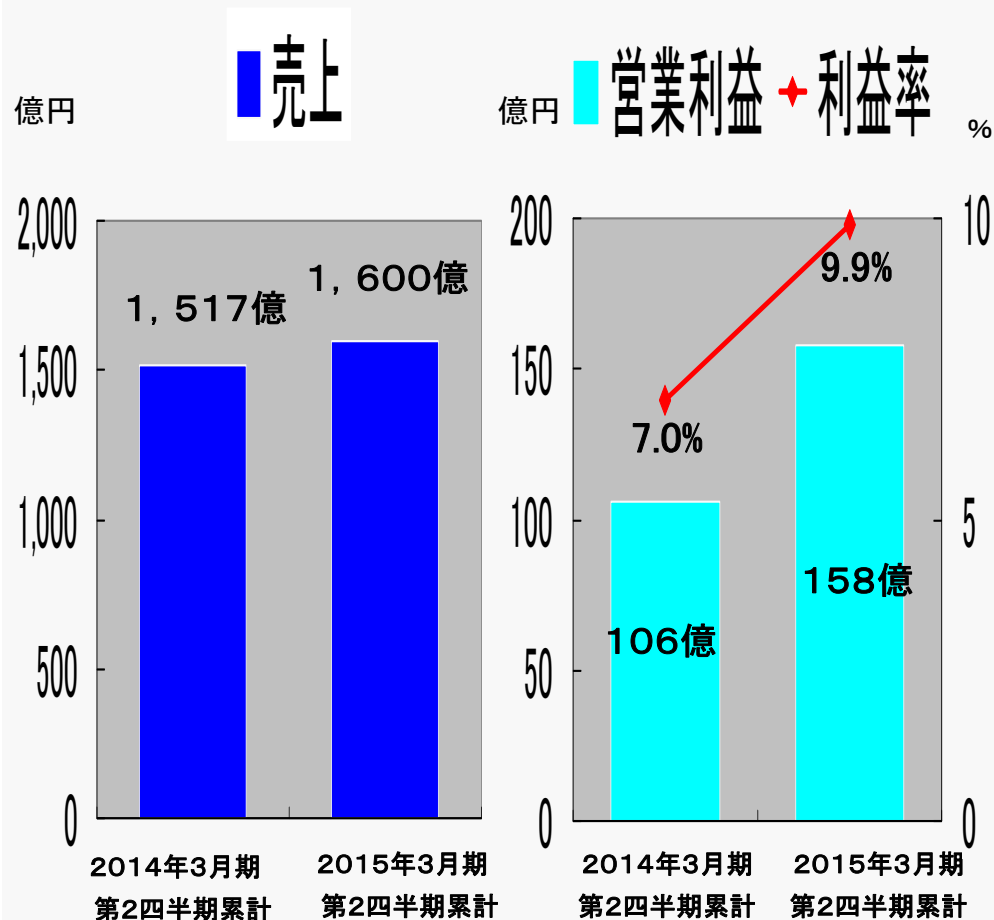
2015年3月期 第2四半期連結決算概況

①

単位：億円

連 結	2014／3月期	2015／3月期	
	第2四半期累計	第2四半期累計	前年比 増減額
売上高	1,517	1,600	+83
営業利益	106	158	+52
利益率	7.0%	9.9%	+2.9(%)
經常利益	98	164	+66
当期利益	57	104	+47

第2四半期累計好業績の主要因



◆売上(1,517億→1,600億)

- ・時計のブランド製品の売上拡大
→G-SHOCKのGPSハイブリッド電波ソーラーウォッチ
7月に発売後順調に拡大
- ・電子辞書と電卓の売上拡大

◆営業利益(106億→158億)

- 利益率改善(7.0%→9.9%)
- ・時計のG-SHOCKを中心に高価格帯モデルのミックス拡大
- ・電子辞書、電卓の売上拡大に伴う利益拡大
- ・デジタルカメラのTRシリーズを中心に独自のハイエンド商品拡大により利益拡大

2015年3月期決算予測

③

単位:億円

連 結	2015/3月期			
	第2四半期 累計実績	下期計画	通期計画	前年比 増減額
売上高	1,600	1,900	3,500	+282
営業利益	158	192	350	+84
利益率	9.9%	10.1%	10.0%	+1.7(%)
経常利益	164	166	330	+73
当期利益	104	126	230	+70

システム事業

④

＜上期の計画比未達の要因＞

- ・新規事業の遅れ及びプロジェクター事業の開発費増による収益悪化が主因

＜下期の事業改善策＞

- ・事業の選択と集中による新事業への人的資源の再配分
- ・新商品開発強化と売上規模拡大

プロジェクター、ネットレジ、プリンター、人事システム等

- ・上期実施の減損処理により収益性改善

時計事業

⑤

▪ 世界初GPSハイブリッド電波ソーラー ウォッチの拡販

→フルメタルOCEANUS(OCW-G1000)の投入

→G-SHOCK(GPW-1000)グローバル販売拡大



▪ スマートフォン連携Bluetoothウォッチ拡販

→EDIFICE(EQB-500) G-SHOCK

ランニングウォッチ PHYS(STB-1000)



デジタルカメラ事業

⑥

- ・新ジャンル商品の投入 (EX-FR10)

新しい撮り方を創造するセパレート型デジタルカメラ

→自分撮り・みんな撮り・後ろ撮りを1台で実現
アウトドアの多彩なシーンでも使える



カメラ部と液晶モニター部を簡単に分離



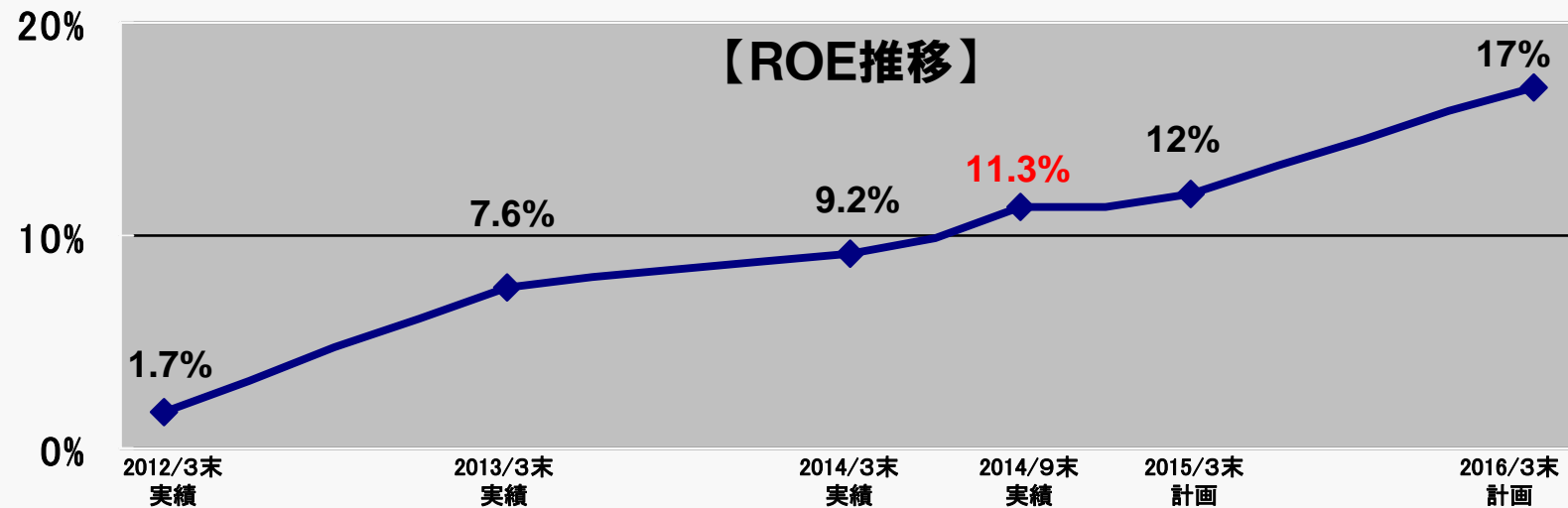
- ・独自ジャンルの強化

→TRシリーズの新製品EX-TR500投入

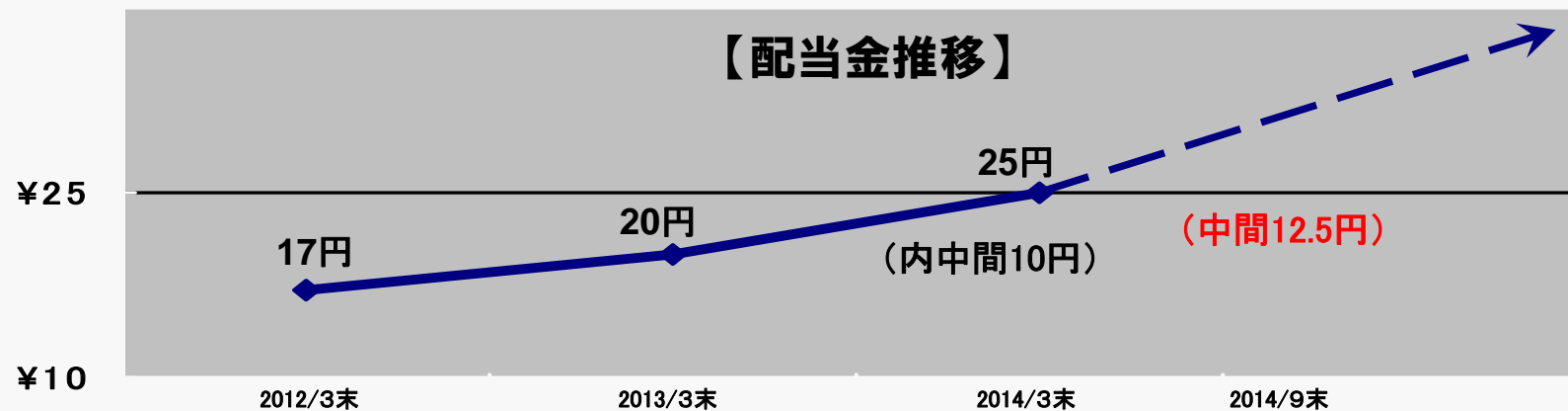
株主還元施策

⑦

◆収益性を高め、ROE向上→9月末で11.3%まで向上



◆配当政策を中心とする還元施策の強力推進
今期中間配当12.5円



セグメント別売上・営業利益

<ご参考>
単位:億円

連 結	2015/3月期	
	第2四半期累計	通期計画
売上高		
コンシューマ	1,349	2,890
システム	199	485
その他	53	125
合計	1,600	3,500
営業利益		
コンシューマ	226	448
システム	▲48	▲48
その他	▲1	0
調整額	▲19	▲50
合計	158	350

END